

六甲山深まりゆく秋

神戸市北区の市立森林植物園で22日、世界の紅葉を楽しむ「森林もみじ散策」が始まった。ようやく染まり始めた森の風景に、訪れた人たちは深まる秋を感じ取った。

同園によると、色づきは残暑の影響で例年より約1週間遅れ気味だが、北米原産の樹木が集まる「シアトルの森」では、高さ約15〜25メートルのマンサク科のモミジバフウが紅葉。ハイカーは樹木の前で休憩し、鮮やかに染まった姿に見入っていた。

代表的な紅葉は、来月中旬あたりが見頃という。11月30日まで無休。午前9時〜午後5時（入園は同4時半）。5日〜30日は、開園時間を午後6時半（入園は同6時）に延長し紅葉をライトアップする。同園 ☎078・591・02

53

（大山伸一郎）



秋が深まり始めた園内を散策するハイカーたち―22日午前、神戸市北区山田町、市立森林植物園